

## 編集後記

青森県六ヶ所村にある量子科学技術研究開発機構（当時は日本原子力研究開発機構）の六ヶ所核融合研究所にて働き始めてから早9年目になります。それは茨城県的那珂核融合研究所に博士研究員として採用されてから半年後の秋のこと、何もわかっていなかった私は異動先でも那珂研の通勤で使用しているママチャリで通えば良いと考えていました。しかし、異動日が近づくにつれて耳にする雪の噂に驚き、急いで那珂研近くの中古車ディーラーで94年製のハイラックスサーフを購入して、その2週間後には600kmの長い道のりを運転して青森に向かったのです。大学の学部時代に山形の自動車教習所で約2週間の合宿を通して磨いた腕はとうに錆びており、おっかなびっくり運転したことを覚えています。そして、その一か月後から始まるホワイトアウトの日々。今思い返すと、そのあまりの状況に怖さよりも楽しさが勝っていたように感じます。現在は、当時に比

べると連日の大雪に悩まされることはなく、月に数回少し大変な雪が降る程度ですので、実を言うと少し物足りなさを感じています。

さて、青森で暮らして9年目ですが、青森県には多くの観光名所があります。春には毎年200万人が訪れる弘前城のさくら（樹齢100年を超えるソメイヨシノが400本以上あります）、夏には青森ねぶた祭で280万人（2018年）が「ラッセラー」の掛け声と共に跳ね回り、秋の紅葉の時期には黄金色に輝く八甲田を車で走れば木漏れ日に何ともいえない感動で高揚し、冬にはウインタースポーツはもちろんのこと八甲田の樹氷やこの時期に十和田湖周辺に作られる「かまくらバー」で氷のグラスで一杯と、本当に魅力あふれる場所です。皆様も青森県にお越しの際は季節に応じた最高の観光を体験してみたいはいかがでしょうか。

（染谷洋二）

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	吉田 善章	副会長	森 雅博（推薦委員長：学会賞）	豊田 浩孝（推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長）
常務理事	下妻 隆（総務委員長）			
理 事	浅野 克彦（財務委員長）	浅野 史朗	荒卷 光利	
	内野喜一郎（支部・地区研究連絡会委員長）	大野 哲靖（企画委員長）	岸本 泰明（年会運営委員長）	
	久保 博孝（広報委員長）	小西 哲之	坂本 瑞樹（編集委員長）	
	神野 雅文	竹入 康彦（研究部会連絡委員長）	中井 光男	
	長谷川 晃	和田 元		
監 事	利根川 昭，中村 圭二			

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：坂本瑞樹（筑波大） 副委員長：荒卷光利（日大）  
エディタ：金子俊郎（東北大），江尻 晶（東大），中村祐司（京大），城崎知至（広島大），小西哲之（京大），酒井 道（滋賀県立大）  
編集委員：青木 順（阪大），浅井朋彦（日大），有川安信（阪大），伊藤篤史（核融合研），諫山明彦（量研），宇佐見俊介（核融合研），大塚哲平（近畿大），荻野明久（静岡大），小倉浩一（量研），尾崎 哲（核融合研），乙部智仁（量研），加藤 進（産総研），桑原大介（東京農工大），栗田弘史（豊橋技科大），小菅佑輔（九大），染谷洋二（量研），高橋和貴（東北大），竹内 希（産総研），辻村 亨（核融合研），時谷政行（核融合研），藤井恵介（京大），星野一生（慶応大），松下恭子（東京理科大），三重野哲（静岡大理），三沢達也（佐賀大），吉田雅史（山口大），吉橋幸子（名大）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第95巻第2号

編集・発行  
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷  
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2019年（平成31年）2月25日  
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485  
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円（税別）

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。